

經濟論叢

第十六卷 第一號

tramp と liner	佐波宣平	1
イギリス新組合主義と標準八時間制	前川嘉一	17
租税国家論についての一考察.....	横尾邦夫	36
プロレタリア階級意識の端緒的成立	高橋正立	47

昭和三十五年七月

京大經濟學會

昭和二十四年六月十三日國有鉄道特別承認雜誌第一一九七号
昭和三十五年七月一日發行(毎月一回一日發行)

京都大学経済学会役員 (五十音順)

評議員長
評議員

(会計委員)
(研究委員)
(編集委員)

(会計委員)
(編集委員)

(研究委員)

青松 山井 岡部 大野 大橋 小野 鎌倉 岸本 木村 佐原 静波 島田 高嶋 田中 豊中 菱井 中旗 穂積 堀江 前川 山崎 吉山 次雄
井秀 利英 秀隆 一太 二太 宣正 恭亮 真貞 真 勇 俊武 文英 保嘉 亮武 達
清 夫 良 二 憲 郎 昇 郎 郎 雄 平 均 彦 男 晴 競 蔵 実 泉 彦 彦 一 蔵 一 一 雄

— 既 刊 目 次 —

第八十五卷 第四号 四月一日発行 定価 二二〇円

経営者のリーダーシップ……………田 杉 競
大恐慌期の減価償却政策……………高 寺 貞 男
イギリス定期船業の成立……………山 田 浩 之
外汪管理部門の性格……………吉 沢 栄 蔵
長期経営計画と利益管理……………山 田 保

第八十五卷 第五号 五月一日発行 定価 一一〇円

超帝国主義論の批判と問題点……………静 田 均
国家独占資本主義と「自由化」問題……………松 井 清
オーベル・シュレージエン……………大 野 英 二
製鉄業の創出過程……………大 野 英 二
ソースタイン・ヴェブレンの……………中 山 大
資本主義論に関する一研究(一)

第八十五卷 第六号 六月一日発行 定価 一〇〇円

ユートピアについて……………穂 積 文 雄
資本主義の運動法則における……………吉 村 達 次
論理的なものとの歴史的なもの(三)
明治前期における……………梅 津 和 郎
輸出関税撤廃論争……………高 橋 正 立
ワイトリングの生涯と……………高 橋 正 立
『調和と自由の保証』

記事

経済学部

○六月月例研究報告会

六月十六日(木) 午後一時→三時 法経第五演習室

報告

一、イギリスにおける新組合主義と標準八時間労働日

前川嘉一氏

執筆者紹介(掲載順)

佐波宣平 京都大学教授

前川嘉一 京都大学助教授

横尾邦夫 京都大学大学院学生

高橋正立 京都大学大学院学生

鈴木武雄・新庄博・高橋泰蔵・林榮夫編

金融機構と金融調整

金融財政講座 2 (第1回配本)

A5 二二八頁
定価 三〇〇円

堀江 英一

産業資本主義の構造理論

A5 二二二頁
定価 三六〇円

大谷 瑞郎

資本主義発展史論

A5 二三四頁
定価 五〇〇円

市村真一監修・関西経済連合会事務局著

日本経済の将来

A5 二一六頁
定価 三五〇円

——産業連関分析の応用——

豊倉 三子雄

産業循環論

A5 三一〇頁
定価 五三〇円

関西学院大学経済研究叢書1

三上 隆三

貨幣的経済理論の研究

A5 三七〇頁
定価 八〇〇円

有斐閣

東京神田神保町

京都支店

左京区北白川追分町

会 員
各位へ
会費は左記あて御納入下さるようお願い
いたします。

一、会費納入先

京都市左京区吉田本町

京都大学経済学部内

京都大学経済学会

振替口座大阪五〇五三九番

一、会費年額一、〇〇〇円(前納)

一、会員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業

年次、就職先を学会まで御通知下さい。

※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

昭和三十五年六月廿五日 印刷
昭和三十五年七月一日 発行

定価 一〇〇円

編集兼 発行人 簾 治良左衛門

印刷所 京都市下京区七条御所ノ内東町三九番地
中村印刷株式会社

発行所 京都市左京区吉田本町
京都大学経済学会

振替口座大阪五〇五三九番
株式会社 有斐閣

本 社 東京都千代田神田
神保町二丁目十七番地
京都支店 京都市左京区北白川
農学部電停前

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 86, No. 1

July 1960

CONTENTS

- Tramp and Liner *Sempei SAWA*
- New Trade Unionism and
Eight Hours Day *Kaichi MAEGAWA*
- A Note on the Theory of
„Steuerstaat” *Kunio YOKOO*
- Awakening of the Proletarian Class-consciousness in
W. Weitling *Masatachi TAKAHASHI*

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)